

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年02月01日

計画の名称	リニア岐阜県駅周辺の交通結節点を活かしたまちづくり												
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	中津川市												
計画の目標	<p>美乃坂本駅に自由通路の整備を行う事により、交通結節点機能の強化、都市機能の充実を図る。</p> <p>J R美乃坂本駅の北側は区画整理を実施している地区であり、南側は旧市街地である。この両地区は鉄道により南北に分断されており、また駅利用者は改札が南側にしかないため、近隣の踏切を渡っている状況である。</p> <p>また、リニア中央新幹線の整備に伴う駅前広場の整備やアクセス道路の付け替えにより、近隣の踏切が廃止されることになる。</p> <p>本踏切は中津川工業高校などの通学ルートをはじめ、J R在来線の南北を通過する歩行者・自転車の通行動線になっており、迂回等のない快適な通行機能を確認するために自由通路の整備が必要である。</p> <p>今回、J R美乃坂本駅に自由通路を整備することで、南北の分断を解消及び駅利用者や周辺住民の安全な交通を確保する。さらにバリアフリー化することで、高齢者や障がい者にも配慮された円滑な交通を確保する。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,007	A	3,007	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和4年度	中間目標値	最終目標値 令和8年度末
1	自由通路の整備によりJR美乃坂本駅の北側地区の住民が改札を利用するための所用時間が 2.4分 から 1.6分 に減少 JR美乃坂本駅に隣接する県道苗木恵那線のJR中央本線踏切の北側から駅改札までの歩行者の所用時間 (踏切北側から駅改札までの距離(m) / 歩行速度(時速4km/h=66.7m/分))	2分	分	1分
2	自由通路の整備によりJR美乃坂本駅に隣接する踏切における歩行者・自転車の踏切待ちによる時間損失が 4.3人・時間/日 から 0.0人・時間/日 に減少 JR美乃坂本駅に隣接する県道苗木恵那線のJR中央本線踏切における歩行者・自転車の踏切待ち損失時間(平日1日) (各踏切り遮断時における踏切待ち人数(人) × 踏切待ち時間(分))の合計	4人・時/日	人・時/日	0人・時/日
3	自由通路の整備によりJR美乃坂本駅周辺において歩道空間が確保されていないことを問題として捉えている割合を、17% から 6% に減少 地域住民に対して交通に関するアンケート調査を実施し、地区住民がJR美乃坂本駅周辺において歩道空間が整備されていないと回答する割合	17%	%	6%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					